

令和6年度 大阪府立堺聴覚支援学校 第1回 学校運営協議会

日時 ; 令和6年7月12日(金) 10:00~12:00

場所 ; 大阪府立堺聴覚支援学校 会議室

出席者 ; 校長 甲斐 俊夫

【協議会委員】 井坂 行男 (大阪教育大学教育学部 教授)  
山下 真由美 (堺市立百舌鳥支援学校 校長)  
早川 良次 (シャープ特選工業株式会社 社長)  
廣瀬 宜礼 (大阪河崎リハビリテーション大学 講師)  
田中 與志男 (堺ろう学校同窓会 会長)  
中原 啓子 (本校PTA 会長)

【事務局】 教頭・事務長・首席・幼稚部主事・小学部主事・中学部主事

【傍聴者】 有(1名)

1 開会

2 学校長より挨拶

- ・校長着任の挨拶
- ・会長・副会長の選出 会長 井坂行男 様 副会長 山下真由美 様
- ・委員の紹介
- ・学校運営協議会参加者の紹介 事務局

3 校内見学

- ・小学部 → 幼稚部 → 中学部

4 教科用図書の紹介・・・小中学部各学年の教科書を展示 (休憩時間を使って閲覧)

5 協議

(1) 令和6年度 学校経営計画について(校長より説明)

【委員からの主な意見・質問及びその回答】

① 地域に開かれた安心・安全な学校づくりの推進

- ・中学部がガーナの聴覚支援学校との交流は定期的に行っているのか。国の決め方やコミュニケーション手段はどうしているのか?
  - ・今後、互いに続けていきたいと思っているが、設備の違い等もあり、難しい点もある。
  - ・教育庁を通してではなく、教員の個人的な繋がり(JICA)で、総合の時間に実施している。
  - ・国際手話を使っている。互いに通訳を介して、実施している。紙に英語で書いて子どもが同士が直接やり取りする場面もあった。
- (委員より) テーマを決めて取組むと、外国のこと等にも視野を広め、今後、就労に向けて等

意識も変わってくるのではないかと感じる。

- ・校長ブログの立ち上げはよかった。学校の様子を外に発信し続けて行くことが大切だと思う。
  - ・毎日ではないが、授業や行事等について少しずつ掲載し、続けて行きたい。
- ・学校 HP のリニューアルについて
  - ・今夏に更新準備を予定している。

## ② 確かな学力の育成

- ・昨今、「本ばなれ」が話題になっている。子ども達が何かを調べるとき、本とネットの比較を調査したことはあるか。
  - ・令和3年度から1人1台端末が始まり、以前は本を使って調べていたが、今は、端末で調べると、直ぐにわかるということで、そちらの利用が増えていると思う。
  - ・(委員より) 便利ではあるが、直ぐに答えが出てしまうことにも問題がある。その出てきた答えに、疑問を持つことも大切である。逆に、本を読むだけでもいけない。昨年度にバーコードをつけたこともその利用も子ども達の興味に繋がっていく。それぞれの利点を活用して、どのように育てていくかが大切である。
- ・昨年度、小学部に協力してもらい、読書力調査をした。結果、漢字の読みや読字力もあがっている。その中で、幼稚部から小学部・中学部への「言語力」に向けての、先生方の取組みはあるか。
  - ・小グループにわかれて、子どもの実態に合わせた取組みを行っている。また、視覚的に見てわかること、覚えることについて、繰り返し目にする工夫も行っている。
  - ・(委員より) 言語力の向上に聴力の活用も認められている。教員の働きかけが必要である。

## ③ 支援教育の専門性の向上

- ・補聴器の扱い方や人工内耳の故障のチェックはどうしているのか。
  - ・(幼稚部) 聴こえ調べ、電池の確認など日常的に取り組んでいる。ランプも子どもに意識付けしている。また、子どもの様子から、教員が気づけるように心がけている。
- ・情報を吸収するもの(ICT機器や人工内耳)は進んでいるが、その活用はどのようにしているか。
  - ・担任と子どもの間でも Google Classroom でも学習の取組みの確認をしている。
  - ・(委員より) ジョブコーチが日記を交わしており、その内容を把握し、直ぐに対応している。
  - ・(委員より) 何歳から、使用しているか。
  - ・小学部1年から平仮名、2年片仮名、3年ローマ字等を使っている。
- ・アプリ等を使った学習はしているのか。
  - ・小学部はロイノートを使用しており、言語力の向上をめざしている。

## ④ センターの機能の充実

- ・ご意見、特になし。

## ⑤ 働き方改革について

- ・時間外 60 時間を超えると三六協定により、時間外の管理をするが、学校の場合はどうなのか。
  - ・1ヶ月で80時間を超えると産業医の面談を職務として受けなければならない、業務の改善が求められる。年間360時間を超えない様にとられるが、懲戒や罰則もない。
  - ・(委員より) 業務内容の見直し、人員の確保など、取り組んではどうか。
  - ・3つのものを2つにできないかなど、関係者に現在業務の見直しを留意しているところ。

具体的に業務内容を見直し、取り組んでいく。

(2) ご意見・ご感想

- ・授業の様子を見ていて、ほとんどの子ども達が補聴器を使っている。そして手話が少ないと感じた。
- ・幼稚部をみて、段階を踏んで、言葉を育てるためには、早くから手話を使ってほしいと思った。聴覚支援学校だから、きちんと手話を使えるようになってほしい。
- ・他の支援学校は圧縮して授業を行っている。専門性の向上が課題。研修を充実させるように取り組んでいる。
- ・図書室はいつでも行けるようにしているが、本が好きな子も少なくなっている。
- ・同和問題については、センターから研修講師に来ていただく予定をしている。

6 事務局より連絡

- ・次回は11月予定。
- ・11月9日は文化祭で、その中で、本校創立70周年記念行事を行う予定。ぜひご来校ください。

7 校長挨拶

8 閉会の挨拶